

“J-PARC建設から今後へ”
Construction to Future of the J-PARC Project

永宮 正治氏
(理研 研究顧問/高エネルギー加速器研究機構 名誉教授)

J-PARCは、物質生命科学を研究対象とするRCS (3GeVシンクロトロン) と素粒子原子核を研究対象とするMR (50GeVシンクロトロンで、現在30GeV運転) によって構成されています。高エネルギー加速器研究機構と日本原子力研究機構の協力によって作られ、現在も両者の協力によって運転されています。この計画を始めた動機、その後8年に亘る建設、運転開始、そして実験の結果やその後の二つの事故、さらには、今後の可能性や展望について、時間の許す範囲内で述べたいと思います。

Language: Japanese
(講演言語: 日本語)

2015年10月6日(火) 13:30-
於 仁科ホール、仁科記念棟2階

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
npsoc@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>